

我が家の防災対策と在宅避難への備え



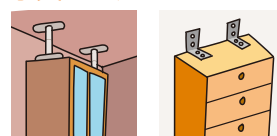
自宅に倒壊や火災の危険がなければ、避難所で生活する必要はありません。

慣れない避難所での生活よりも、自宅で避難する方が安心で、過剰な配慮の必要もありません。

建物の耐震化、家具などの転倒防止対策、食料品や生活必需品の備蓄をするなど、日頃から備えておきましょう。

1. 家の中の安全を確保する

家具の固定



壁や柱と家具を固定するタイプ、天井との間につっぱり棒をして固定するタイプなどがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

家具の配置を工夫

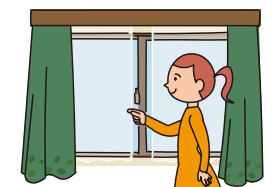


寝ている場所に家具が倒れてこないように配置しましょう。倒れた時に通路やドアをふさがないように配置しましょう。

ガラスの飛散防止

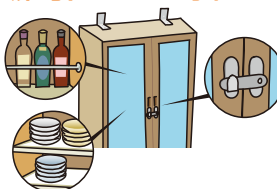


ガラス飛散防止フィルムを貼り、割れたガラスが飛び散るのを防ぎましょう。



昼間は薄いレース、夜間はカーテンを引いておくことも飛散防止の効果があります。

扉・引き出しの対策



飛び出し防止栓を設置し、地震発生時に扉・引き出しが開かないように固定しましょう。食器などの下に滑り止めマットを敷いておきましょう。

2. 防災グッズの備蓄

④ その他(必要に応じて)

ペット用品

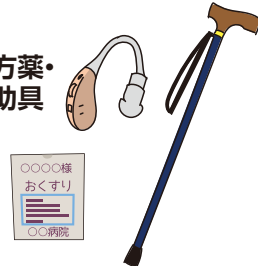


トイレシート

乳幼児・高齢者用グッズ



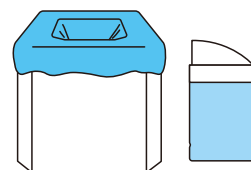
処方薬・補助具



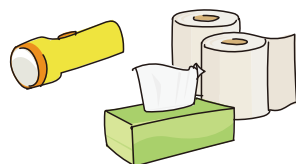
① 飲料水や食料品



② トイレ (災害用トイレ)



③ 生活用品



備蓄している物を消費してしまった後は・・・

在宅避難されている方も、近くの避難所で、食料や水、物資の配給などの公的支援を受けることができます。

外出先で地震に遭ったら

建物の外



頭をかばんなどで守りましょう。ガラスなどの危険物が落ちてくるおそれがあります。塀や壁際、自動販売機には近寄らないようにしましょう。その場に立ち止まらず、広場などのひらけたスペースに避難しましょう。

建物の中



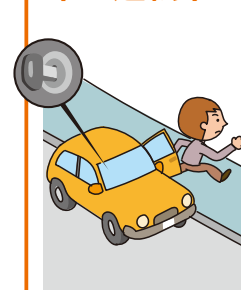
火災が発生したら、煙を吸わないよう姿勢を低くし、ハンカチなどで鼻や口を覆って避難しましょう。壁づたいに移動し、出入り口を探しましょう。

エレベーターの中



行き先階のボタンを全部押して、止まった階で降りましょう。閉じ込められてしまった場合は、エレベーターの中の状況をインターホンで通報しましょう。

車の運転中



ゆっくりと速度を落とし左側に寄せて停止しましょう。揺れがおさまるまで待ち、車のラジオで情報を得ましょう。車の外に避難するときは、キーをつけたままにしてください。

電車の中



倒れないよう、手すりなどにつかまって身を守りましょう。また、網棚からの落下物に注意しましょう。係員の指示に従って行動しましょう。

持ち歩く防災グッズ



外出先で被災した時のために、いつも使っているバッグにも、防災グッズを入れておくと安心です。



東日本大震災では、川口駅周辺でも多くの方が帰宅困難となりました。

首都直下地震では、東京都市圏で更に多くの帰宅困難者が発生することが想定されています。外出先で被災した際の連絡手段等も、あらかじめ確認しておきましょう。

災害時帰宅支援ステーション

多くの人が一斉に帰宅を始めると、道路や駅周辺では大混雑が発生し危険です。災害発生時には、右に示すステッカーが貼ってある店舗において、水道水やトイレ、情報の提供を受けることができます。



川口駅周辺帰宅困難者対策協議会

東日本大震災を教訓に、駅周辺事業者が協力して行動できるよう、平成24年11月22日に設置しました。

協議会構成員施設

※これらの施設が必ず開設されているわけではありません。

- | | |
|------------------|-------------|
| ① JR川口駅 | ⑤ アリオ川口 |
| ② 川口総合文化センター・リリア | ⑥ スマイルホテル川口 |
| ③ キュポ・ラ | ⑦ かわぐちキャスティ |
| ④ 川口西公園 | ⑧ 川口信用金庫 |

会社に置いておく防災グッズ

帰宅困難となった時のために、3日間程度会社で待機できるよう、防災グッズを備えておくと安心です。

